

平成25年 水稲収穫後ほ場管理のチェックポイント

- 多雨で軟弱なほ場では、収穫時のワダチ等を利用して、表面水の排水に努めよう！
- 水田を乾燥させ、基本の5ステップを実行しよう！

ステップ① 稲わらの搬出



- ◆ 稲わらは貴重な資源です！搬出して堆肥や飼料などに有効活用しよう！
- ◆ 稲わらの野焼きは、煙害（健康・交通）や産地への風評害の原因になるため、絶対に行わない！
- ◆ 堆肥化して施用すれば、窒素の後効き低減（低タンパク化）や地力維持効果！
- ◆ いもち病発生ほ場では菌密度を低減！

ステップ②

溝掘りで表面排水の促進



- ◆ 溝は落水口につなぎ、表面水をほ場外に流すことが重要。
- ◆ 表面水の除去は、融雪後のほ場作業開始を早める。
- ◆ 水田が乾き、地力窒素が引き出せる。

ステップ③ 心土破碎の施工



- ◆ 心土破碎施工のコツは、「ほ場が乾いている時に、できるだけゆっくりと行う」

ステップ⑤

土壌診断の活用



- ◆ 高品質米の安定生産には、施肥の適正化が必須
- ◆ 過剰施肥をなくし、コスト削減
- ◆ 土壌分析値は、3～4年間は有効（無機態窒素を除く）

ステップ④ あぜの補修



- ◆ 冷害危険期に、最大20cmの深水管理ができるしっかりとした畦に補修しよう！